

2026年度入学生　社会情報学部推薦図書

推薦図書　4冊

※1年次開講の必修科目に役立つ本をピックアップしています。以下4冊のうち2冊は読むようになります。レポート等の提出は不要ですが、授業内で書籍について感想を求める場合があります。

（1）【「社会科学概論」の推薦図書】

書籍名：『池上彰のやさしい経済学 [令和新版]　1　しくみがわかる』

著者名：池上 彰

出版社：日経 BP 日本経済新聞出版

コメント：『社会科学概論』では"需要"と"供給"という言葉を聴いたことがあるという前提で講義を行います。この本で述べられていることも結局は"社会現象は需要と供給で説明できる"ということに気付かれるでしょう。この本を読んでおくと社会科学概論が面白くなります。

（2）【「情報科学概論」の推薦図書】

書籍名：『自分と未来のつくり方 --情報産業社会を生きる--』

著者名：石田 英敬

出版社：岩波ジュニア新書

コメント：情報産業社会の中で自分らしく生きるということはどういうことなのか、また自分自身の情報環境をどのように設計していくべきかについて考えるヒントとなる一冊です。

（3）【「人間科学概論」の推薦図書】

書籍名：『高校生のための心理学 (New 心理学ブックス)』

著者名：松井 豊

出版社：大日本図書

コメント：高校生向けに書かれた心理学の入門書です。

（4）【「統計入門」の推薦図書】

書籍名：『統計でウソをつく法—数式を使わない統計学入門』

著者名：ダレル・ハフ

出版社：講談社（ブルーバックス）

コメント：あなたは統計データにだまされていませんか？

この本で、統計データを使って人をだます方法を学びましょう。

その知識は悪用しないで、データを正しく理解するために役立てましょう。